

## 第1学年 道徳科学習指導案

1 題材 かぼちゃのつる (A 節度、節制)

2 本時の目標

わがままな言動をしないで生活することの大切さについて考え、生活を見直そうとする。

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 自分勝手な思いから失敗したことを発表する。 ・ したい遊びができなくてけんかした。 ・ 列の順番をぬかして友達を傷つけた。 2 本時の学習課題を把握する。	・ 自分の生活を振り返らせ、わがままはいけないことだと分かっている、してしまうことを押さえる。
課題 (2)	わがままをいわないことがどうしてたいせつなのかかんがえよう	
展開 (33)	3 資料を読み、かぼちゃの気持ちを話し合う。 ① かぼちゃがみんなの言うことを聞かなかったことについて考える。 ・ 大きくなりたいから。 ・ 注意をうるさいと思っていたから。 ② 涙をこぼしたかぼちゃの気持ちについて考える。 ・ 指名された児童は、泣いているかぼちゃのお面をかぶって意見を言う。 ・ つるが切れて痛いよう。 ・ いや、負けずにもう一回伸ばせばいい。 ③ つるを伸ばすとき、どんなことを考えればよかったのか考える。 ・ 周りの人が困らないように、伸びればよかった。 ・ 注意を聞いておけばよかった。	・ 物語の内容を押さえた上で話し合いをするために、登場人物とあらすじを確認する。 ・ かぼちゃが自分の好き勝手に伸びていたことや、注意に耳を傾けていなかったという意見を取り上げることで、かぼちゃが「わがまま」だということを共通認識させる。 ・ 意見が出にくい場合は、注意に耳を傾けなかったことを取り上げ、後悔する気持ちに気づかせる。 ・ 児童の発言を色分けして板書する。 ( 反省している意見⇒ピンク色 ) ( 反省していない意見⇒黄色 ) ・ 話し合いを深めさせるために、「なぜそう思うのか」を問い返す。 ・ クラス全体が話し合いに参加できるように、納得した意見に手を挙げさせる。
整理 (5)	4 本時を振り返る。 <b>&lt;児童のこんな言動に会いたい&gt;</b> ぼくは、いままでわがままをいったけど、わがままではいけないなと思った。	・ 自分たちの生活を振り返ることができる、導入での発言を確認する。 ・ これからどうするのか具体的な考えを記述している児童を意図的に指名し、全体の場を広げる。

4 評価

○活動の3、4の発言や記述から

A評価・・・自分の生活を振り返り、わがままをしないで生活することの大切さについて考え、これからのじぶんの生活に生かそうとすることができたか。

B評価・・・自分の生活を振り返り、わがままをしないで生活することの大切さについて考えることができたか。